



この日挨拶で消防訓練大会を訪れた石破茂地方創生担当大臣（左）。小型ポンプ操法では、的確で素早い動きが印象的でした。



規律訓練では、指揮者の指示どおりに整列して行動しました。

7月5日、仙北市消防訓練大会が落合運動公園駐車場で開催されました。市内の消防団10分団から、小型ポンプ操法の部に23チーム、規律訓練の部に7チームが出場しました。出場した団員の皆さんは、この大会へ向けて積み重ねてきた訓練の成果を十二分に発揮し、培ってきた技術、スピード、正確性を競い合いました。各種目の上位3チームは、7月18日に行われる大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場します。

### 仙北市消防訓練大会

より早く、より正確に

- 主な結果（敬称略）
- 小型ポンプ操法の部
    - 優勝 第10分団1班（中川地区）
    - 準優勝 第9分団1班（雲沢地区）
    - 第3位 第8分団2班（白岩地区）
  - 個人表彰（優秀隊員）
    - 指揮者 阿部慶之（第9分団1班）
    - 1番員 小林琢磨（第10分団1班）
    - 2番員 清水翼（第4分団3班）
    - 3番員 黒澤武彦（第10分団1班）
  - 規律訓練の部
    - 優勝 第9分団（雲沢地区）
    - 準優勝 第8分団（白岩地区）
    - 第3位 第7分団（角館地区）

# 春の叙勲 受章おめでとうございます

6月1日号でお知らせしましたが、草薙紀雄氏と当市出身で秋田市在住の三浦初男氏がそれぞれ人権擁護功勞、保健衛生功勞で瑞宝双光章を受章されています。

## 瑞宝双光章



三浦 初男氏  
(62歳 秋田市柳田)

保健衛生功勞。元秋田大学医学部附属病院診療放射線技師長。旧田沢湖町生まれ。昭和49年4月から秋田大学医学部附属病院放射線部診療放射線技師として勤務。平成13年4月に診療放射線技師長。平成25年3月同病院を定年退職。

## 瑞宝双光章



草薙 紀雄氏  
(71歳 角館町白岩)

人権擁護功勞。宗教法人代表役員。人権擁護委員歴は昭和58年9月から11期、31年間。平成9年から大曲人権擁護委員協議会常務委員、同協議会副会長、秋田県人権擁護委員連合会理事。

# 高齢者叙勲

長年にわたり、さまざまな分野で社会に貢献された次の方々が受章されています。

## 瑞宝単光章



高藤 重孝氏  
(88歳 田沢湖生保内)

元田沢湖町消防団分団長。昭和19年から生保内村警防団に入団。昭和54年から平成4年まで田沢湖町消防団分団長として、地域のリーダー的役割で活躍。その貢献が認められ、このたびの受章となりました。

## 旭日単光章



佐藤 善太郎氏  
(88歳 西木町小淵野)

元西木村議会議員。昭和32年9月西木村議会議員に初当選。以来、昭和52年までの長きにわたり地域の発展のために尽力されました。地方自治功勞により、このたびの受章となりました。

## 瑞宝双光章



倉橋 繁吉氏  
(88歳 田沢湖生保内)

元農林水産省東北農政局秋田統計情報事務所農林統計課長。農林水産省に40年勤務し、農林統計などを担当。長きにわたり職務に尽力された功績が認められ、このたびの受章となりました。

## 田沢湖の鳴き砂を復活させよう

### 鳴砂協議会、白浜クリーンアップ大作戦

田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクトの一環で、鳴き砂復活に向けた環境整備として、7月2日に鳴砂復活検討協議会の初会合が開催されました。また7月6日には、田沢湖白浜でクリーンアップが行われました。清掃活動はこれまでも行われてきましたが、今回は本田技研工業株式会社が実施しているビーチクリーン活動の協力も受け、ボランティア約50人が参加しました。



ビーチクリーナーを活用し、ゴミを回収。砂浜表面が柔らかくなり、清掃後には見違えるようにきれいになりました。



アドバイザーの大阪市立大学大学院 原口強准教授（鳴砂復活検討協議会にて）

## 人権擁護委員として地域へ貢献

### 門脇主彦氏に感謝状贈呈

平成21年7月から大曲人権擁護委員協議会の委員として、2期6年にわたり、地域の相談役、啓発活動に貢献されてきた門脇主彦氏（西木町上松木内）の退職に伴い、このたび法務大臣から感謝状が贈られました。



田沢湖庁舎で感謝状の伝達式が行われ、秋田地方務局大曲支局より、門脇氏へ感謝が述べられました。

横から見たシルエットは仙北市の地図にそっくり

ご当地怪獣「タマグラ」誕生



7月2日、仙北市のご当地怪獣「タマグラ」の発表会がありました。これは、全国のご当地怪獣を手がけている株式会社第一通信社（東京都）とのタイアップで制作されたもので、玉川温泉がモチーフとなっています。今後は色々なところに出没し、仙北市のPRに一役買ってくれるそうです。

目を疑う？思わぬ珍客にびっくり

ニホンジカを田沢湖地内で目撃



6月20日、田沢湖生保内でニホンジカを目撃したとの情報がありました。思わぬ珍客に気づき、撮影したのは坂本哲男さん（生保内字大谷地）。坂本さんは「普段カモシカは見るのがあって、自宅付近でニホンジカを見たのは初めて」と、びっくりした様子でした。

白寿のお祝い  
おめでとう  
ございます

このたび、白寿を迎えられた大石リツさんに、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



6月20日誕生日の大石リツさんは、晴れやかな表情で白寿を迎えられました。

第11回世界ラート競技選手権大会

高橋靖彦選手が世界2連覇

ラート競技者で国内外で活躍されている高橋靖彦さんが、6月にイタリアで開催された第11回世界ラート競技選手権大会の男子個人総合で見事2連覇を果たし、団体・個人の全ての競技でメダルを獲得するという快挙を達成しました。



合計6個のメダルを胸に優勝報告で田沢湖庁舎を訪れた高橋さん。「全日本大会をぜひ仙北市で開催したい」と話しました。  
◇高橋靖彦（たかはしやすひこ）角館町出身。角館高から筑波大、同大学院修了。大学1年生まで野球をしていたが怪我により断念。その後、新しいスポーツに挑戦しようと体操部に入りラートに出会う。

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社と連携

災害時飲料確保の協定書を締結

7月3日、仙北市とみちのくコカ・コーラボトリング株式会社（谷村広和代表取締役社長）による「災害時における飲料の確保に関する協定」が締結されました。この協定は仙北市で地震、風水害等が発生した際、飲料の確保について協力をいただくもので、市で以前から対応策を検討していたところ、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社からの提案で実現しました。今後は災害時に飲料水の提供など支援をいただくことになりました。



田沢湖庁舎で門脇市長と谷村代表取締役社長との間で協定書の調印式が行われました。

よりよい人間関係を築くために

グループや職場で役立つコミュニケーション講座

6月27日、角館交流センターでグループや職場で役立つコミュニケーション講座（秋田県南部男女共同参画センター主催）が行われました。参加した約20人の受講者は講師のフェミニストカウンセラー・松葉谷温子氏、あきたAT研究会会長・高橋静子氏から意見を上手く伝えるコミュニケーション方法を学びました。受講者からは「さっそく日常生活の中に取り入れたい」という感想などが聞かれました。



コミュニケーションの大切さを学びました。

高校3年生が市内事業所を視察

仙北市事業所視察会

6月24日、大曲仙北地域の就職を希望している高校3年生を対象に、事業所視察会（商工会、企業等連絡協議会共催）が開催されました。市内事業所への関心を深めてもらうと、今年度は6校から51人の生徒が参加しました。当日は、就職の準備や心構えを聞いた後、3班に分かれ市内の製造業、縫製業、福祉事業所など計12か所を訪問しました。視察後、生徒からは、「就職について前向きになれた」などの感想がありました。



生徒たちは真剣に説明を聞き、メモをとる姿が印象的でした。

射撃の腕を競い合う

第43回大曲仙北安全狩猟シニア大会

6月28日、田沢湖クレイ射撃場で第43回大曲仙北安全狩猟シニア射撃大会が開催され、27人が参加しました。参加者は日頃の練習の成果を発揮し、射撃の腕前を競い合いました。  
大会成績（敬称略）  
◇優勝・佐藤要（大仙市）27点  
◇準優勝・橋建美（西木町）25点  
◇第3位・佐藤好三（西木町）25点  
◇第4位・川本明（美郷町）25点  
◇第5位・黒川信一（大仙市）24点  
◇第6位・齋藤秀雄（大仙市）24点



参加者は真剣なまなざしで標的をのらい、射撃の腕を競い合っていました。

秋田県農家民宿第1号

農家民宿泰山堂が開業20周年

7月4日、西木町の農家民宿泰山堂（藤井けい子代表）が開業20周年を迎え、お祝いイベントが行われました。秋田内陸線2両を貸し切り、イベント列車の中で、藤井さんご夫婦がお付き合ひのある方々約70人に感謝を伝えました。角館から阿仁合までの往復を創作弁当を食べながら、三味線の音色や踊り等を楽しみながら、懇談に花を咲かせました。藤井さんは、「続けられたのは皆さんのおかげ。次は30周年をめざしたい」と話していました。



県内随一の農家民宿数を誇る仙北市の中で、泰山堂は常にリーダー的立場で、人と人とのつながりを大切にしてきました。